

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 127



くんがいしょう
薫蓋樟
門真市

巨大な枝を天に伸ばす
樹齢千年超の楠の巨木

門真市の南部にある「三島神社」の境内には、1938年（昭和13年）に当時の内務省より国の天然記念物に指定されている大阪府内で最大、国内でも有数のクスノキの巨木があります。

「薫蓋樟」と呼ばれ、推定の樹齢は1000年以上とされています。

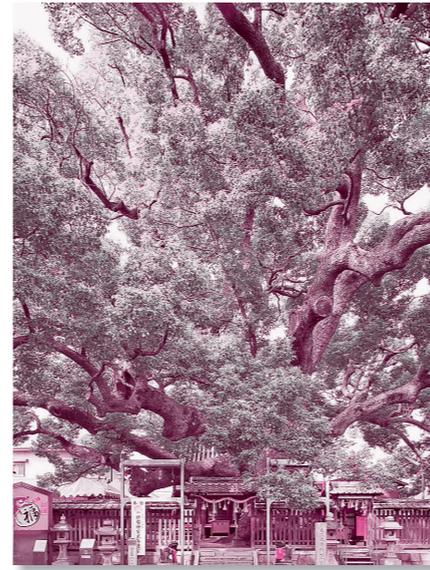
この木は社殿に接するように根を下ろし、少し離れてながめると枝葉が神社をすっぽりと覆っているように見えるほどです。幹回りは13・1メートル、樹高は約25メートル。木の根元には不規則な凹凸ができていて、黒ずんだ幹にはいくつか大きなこぶがあり、主幹から枝分かれした



境内を覆いつくすように「一樹で森をなす」

5本の太枝がうねるように伸びています。

名前の由来は、楠の根本に建てられている幕末に活躍した公家・左少将千種有文の歌碑



いかにも雄大な「薫るきぬがさ」という樹形

「村雨の雨やどりせし 唐土の松におとらぬ楠ぞこのくす」に基づいています。三島神社は、大阪メトロ長堀鶴見緑地線「門真南駅」下車徒歩約10分の場所にありま

Culture Navi かるちパーナビ

作りませんか

給食の
人気
メニュー

のっぺい汁

岸和田市職労 学校支部 給食分会

協力：現業評議会・給食部会



材料（4人分）

鶏肉40g、にんじん40g、大根60g、さといも60g、白玉もち100g、青ねぎ20g、削りぶし8g、水500cc、淡口しょうゆ大さじ1、みりん小さじ2、塩少々、片栗粉小さじ1

作り方

- ①鶏肉は細かく切る。にんじんと大根、さといもはいちよう切りにする。青ねぎは小口切りにする。
- ②削りぶしでだし汁をとる（かつおだしを用意する）。
- ③だし汁に材料を加えて煮る。
- ④淡口しょうゆ、みりんをいれる。
- ⑤白玉もちと青ねぎを加えて煮る。
- ⑥片栗粉を水で溶いて入れ、沸騰させてとろみをつける。

今月の 記念日

3月15日
万国博デー

1970年のこの日、吹田市の千里丘陵の「日本万国博覧会」（大阪万博）の一般入場が始まり、9月13日まで開催されました。アジア初の国際博覧会として、「人類の進歩と調和」をテーマに、77カ国が参加して総入場者数6421万8770人と大きく成功させています。また、会場の周辺整備には多くの企業や研究者、建築家に関わり、日本の技術力と創造力の高さを世界に誇る絶好の機会を得ました。岡本太郎作「太陽の塔」は、万博記念公園のシンボルとして今なお愛されています。こうした大阪万博の成功が千里丘陵の地域発展にもつながり、夢と希望を与えています。さて、開幕直前！大阪万博は「ホンマに大丈夫？」と不安の声が出ています。

1616インスピレーションが

あの日、あの場所で
いったい何があったのか？

雪に覆われたアルプス（フランス）の山荘で起こった転落事故をめぐる心理サスペンス。1年前に公開。自宅で学生の取材を受けるベストセラー作家の妻サンドラと、上階で大量の音楽をかける夫サミュエル。夫婦間の亀裂を感じさせるシーンから始まります。その後、視覚障害のある11歳の息子ダニエルが屋外で倒れている父サミュエルを発見します。

当初、屋根裏部屋からの転落死とされますが、不審な点が多く、前日の夫婦喧嘩の件も明らかになって、サンドラに夫殺しの嫌疑がかけられました。裁判が進むにつれて事件の背景が明らかになり、成功した妻と執筆が進まない夫の苦悩や嫉妬、息子が障害を負った事情、妻の不倫…、隠されていた夫婦の秘密や嘘が容赦なく暴かれていきま

す。難しい立場にあるダニエルは混乱し悩みながら、裁判を傍聴することを自ら決意します…。犯人当ての正統派ミステリーとは一味違う作品です。事故か、自殺か、殺人かを問う法廷劇で、一つの事実の中には、妻と夫、関係者それぞれの真実があることを巧みに描きだします。

最後に判決は下りますが、真相は観客それぞれの判断に委ねられます。監督はフランスのジョステイヌ・トリエ。2023年カンヌ国際映画祭のパルムドールと第96回アカデミー賞脚本賞を受賞しました。サンドラ役はドイツ出身のサンドラ・ヒュラー、時に冷酷に、時に感情を露わに表現する、彼女の演技に魅せられました。そして飼犬スヌープの演技にも注目です。

落下の解剖学

Anatomy of a Fall

「落下の解剖学」

本当の正義の味方は
戦うより先に、飢える子どもに
パンを分け与えて助ける人

やなせ たかし
(漫画家・絵本作家 1919年～2013年)

3月31日から朝ドラ「あんぱん」が始まります。主人公はアンパンマンの原作者やなせたかしさん夫婦です。お互いが正義を主張し争うと戦争になるが、困っている人を助けることこそが本当の正義だといい、そんなヒーローを誕生させました。生きる喜びをうたう「アンパンマンのマーチ」は東日本大震災被災地で多くの被災者を励ましたといひます。今年は阪神・淡路大震災から30年。労働組合もアンパンマンのような存在でありたいものです。

心に響く
このひとこと